

第3次さんかくプランにおける数値目標・成果指標の達成状況

基本目標	重点目標	数値目標/目標値	数値目標/目標値				成果指標		H26との比較	H24との比較
			H25	H26	H27	H28				
Ⅰ 性別にかかわらず、 一人ひとりの人権が 尊重される 明るいまちの実現	1 男女の個人としての尊厳の尊重	A 男女平等に関する授業を実施したクラス割合/小・中とも100%	◎	◎	◎	-	A 小中学生の男女平等感	→	↗	
		B 保育園、幼稚園において、男女平等の男女平等の視点から保育・教育や保護者への啓発に取り組んだ園の割合/100%	◎	◎	◎	-	B 「男女共同参画社会」という言葉の認知度	→	→	
		C 「さんかくカレッジ」修了生の講師登用回数/10回以上	◎	◎	◎	-	C メディア表現の中での男女平等	→	→	
	2 性別に基づいて起こる人権侵害の禁止	D DV防止啓発講座受講者数/毎年500人以上	○	◎	×	-	D 公的相談機関の周知度	→	→	
		E セクハラ研修・出前講座の受講者数/毎年700人以上	×	◎	×	-	E DV・デートDVに対する認知度	→	→	
		F 職場におけるセクハラへの対応度					F 職場におけるセクハラへの対応度	→	→	
Ⅱ 性別にかかわらず、 多様な生き方を認め合える あたたかいまちの実現	3 固定的な性別役割分担の解消	F 固定的な役割分担解消のための講座受講者数/毎年6,000人以上	◎	◎	◎	-	G 性別による固定的役割分担意識の解消度	→	→	
		H 男性の家事、子育て分担割合					H 男性の家事、子育て分担割合	→	→	
		I 事業者における固定的役割分担の解消度					I 事業者における固定的役割分担の解消度	→	→	
	4 仕事と生活の調和の推進	G 保育園の待機児童解消期間/12か月	◎	◎	◎	-	J 父親の育児への積極的参加率	→	→	
		K 男性の介護参加率					K 男性の介護参加率	↗	↗	
		L 仕事と生活とのバランスの満足度					L 仕事と生活とのバランスの満足度	↗	↗	
		M 育児・介護休暇制度の事業者における理解度					M 育児・介護休暇制度の事業者における理解度	→	→	
	5 性と生殖の健康と権利の確保及び生涯を通じた健康支援	H 性に関する出前講座受講者数/毎年17,500人以上	○	○	△	-	N 中学生の性に関する相談の充実度	→	↗	
		I 乳がん検診受診率/50%	△	△	△	-	O 健康診断の受診率	→	→	
	Ⅲ 性別にかかわらず、 多様な意見が活かされる 元気なまちの実現	6 政策・方針の立案及び決定過程への男女の共同参画の促進	J 審議会の女性委員割合/40%	◎	◎	◎	-	P 単位町内会長の女性の割合	→	↗
K 女性管理職割合/8%			○	△	◎	-	Q PTA会長の女性の割合	→	→	
7 国際的な取組についての理解及び協調、連携		L 世界の動きや国際的な取組に関する講座・研修受講者数/毎年300人以上	◎	×	×	-	R 「ジェンダー」という言葉の認知度	→	→	
		S 相談できる日本人がいる外国人の割合					S 相談できる日本人がいる外国人の割合	↘	→	
8 市と市民等とのパートナーシップによる協働		M 「さんかくウイーク」参加者数/毎年300人以上	△	◎	◎	-	T 「さんかくウイーク」の認知度	→	→	
		N 「さんかくウイーク」へのさんかく岡山登録団体参加率/50%	◎	△	×	-	U 「さんかく岡山」の事業内容の認知度	→	↗	

数値目標と成果指標の平成27年度現状値の動向は次のとおりとなっている。

○数値目標(14項目設定)について

- ① 目標値を達成している数値目標は8項目[A、B、C、F、G、J、K、M]
 - ② 目標を達成していないものの前年より改善している数値目標は0項目
 - ③ 目標を達成せず、前年より悪化している数値目標は3項目[H、I]
 - ④ 目標値を達成せず、前年より20%以上数値が悪化している数値目標は4項目[D、E、L、N]
- ※上表において、①=◎、②=○、③=△、④=×で表記している。

○成果指標(21項目設定)について

- ① 現状値が上昇している成果指標は6項目[A、K、L、N、P、U]
 - ② 現状値が下降している成果指標は0項目
 - ③ 現状値が横ばいの成果指標は15項目[B～J、M、O、Q～T]
- ※成果指標については、統計学的に有意である場合のみ、上昇または下降と判断している。